



東亜工機株式会社様 より寄付金をいただきました



光武社長

緒方校長

10月27日(金) 東亜工機株式会社の光武渉社長が来校されました。
 東亜工機株式会社は船舶用ディーゼル部品製造のトップメーカーで、本校の卒業生もお世話になっています。
 来年6月に設立80周年を迎えられるそうで、いただいた寄付金は生徒の教育活動に役立つと思います。
 本当にありがとうございました。

「がんに関する講演会」～11月13日(月)実施～

伊万里市にある浄誓寺からオンラインで、住職古川潤哉様のお話を生徒は各教室で聞きました。

●生まれたからには必ず「老病死」がある。私たちは老いや病気を憎み、若いほうがいいとか、健康でいたいと思すぎて、「老病死」を誰にでも必ず訪れるものとして受け止める心がなかったのではないかな。

●「がん」について考えるのを避けたり、むやみに恐がったりせず、きちんと考え受け止めることが大事で、そこから本当の意味の「生きる」が始まるのではないかな。

また、いじめや薬物についてもお話しいただき、いじめに関しては、いじめめる方が絶対に悪いという強い思いと、逃げてもいいんだよという2つの思いが伝わってきました。

今回、古川様から「がん」をはじめ、いろいろな視点からお話しいただき、「生きる」ということについて考える良い機会を与えて頂きました。



進路講演会「先輩に学ぶ」 11月10日(金)実施

卒業生たちが母校に帰り在校生に対し未来への可能性について語る進路講演会を開催しました。この講演会は、生徒たちが様々な進路への理解を深め、将来の進路選択のヒントを得ることを狙いとして毎年行っています。

今年は、佐賀県立産業技術学院の筒井さん、佐賀コンピュータ専門学校の一ノ瀬さん、三間坂郵便局勤務の小森さんの異なる分野で活躍する3名が、それぞれの知識と経験を後輩たちに伝えました。筒井さんと一ノ瀬さんは、学校で専門分野だけでなく「社会人基礎力」も学んでいると話をし、社会人である小森さんは、仕事をする上で「コミュニケーション」を大切にしていると話をしてくれました。また、太良高校での授業・学校行事・部活動や生徒会活動を通し、自分の強みを身につけるために努力する大切さを話してくれました。進路を模索している1年生の生徒は「ちょうど進学か就職か迷っているところに今回の講演があり、先輩方の言葉で色々なことに挑戦してみようという勇気が湧いてきました」と感想を述べていました。卒業生から受けた刺激を生かし、将来に向けて進路を切り開いてくれることを期待します。



筒井さん



一ノ瀬さん



小森さん

佐賀県家庭クラブ研究発表大会に参加しました。

11月7日(火)佐賀県家庭クラブ研究発表大会が、白石高校を本会場としてオンライン配信で開催されました。

内容は、各地区の代表者によるホームプロジェクトの発表でした。2年3組の山口さんは佐賀県高等学校家庭クラブ連盟生徒会長として運営に携わり、盛会のうちに無事終了することができました。

令和5年度 第68回
高等学校家庭クラブ研究発表大会



～防災避難訓練を実施しました～ 11月20日(月)6限目

各クラスで担任より電子黒板で訓練の流れや火災・津波の時の避難方法について説明がありました。その後、調理実習室からの出火を想定して運動場に避難する避難訓練を実施しました。

次に鹿島消防署太良分署の職員のご指導のもと、消火器を用いた消火活動を職員3名・生徒代表7名が体験しました。消火器を使う際は「ピ(ピンを抜く)ノ(ノズルを構える)キ(距離をとる)オ(押す)」を思い出すことや、消火活動の前に大きな声を出して火事であることを周囲に知らせることの大切さも学びました。

講評では、火や煙が出ていることを想像しながら訓練するととても良い訓練になる、そして、この近くにも大きな被害を及ぼすことが想定される活断層があり、「佐賀でも地震があるかもしれない」という意識を持って生活してほしいと話されました。

いざという時に落ち着いて行動できるように、このような訓練を通じて日頃から事故や災害の予防に努め、防災意識を高めながら生活していかなければいけないと感じました。

